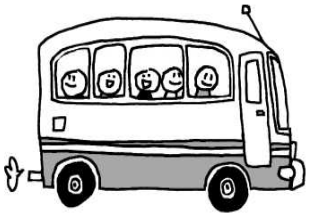
「子どもの貧困」と憲法第26条



お金のこと、みんなで話せる学校を！

東京の学校事務職員と教員がそれぞれの立場から「学校のお金」のことを話しあった座談会。先生たちも「こうしたい！」と思っていることがたくさん。学校づくりの一歩を踏み出そう！

全国の就学援助はどうなっている？ 課題は？

各地の状況を知ることで見えてくる課題があります。申請や認定、給付内容・金額等、同じ制度にもかかわらず自治体によって‘格差’があります。実態を知って私たち学校事務職員の役割をもう一度考えて見ましょう。

学校事務職員が、出会った子どもたち

退職後、自転車で１００校近い学校を回り、教育談義をおこなっている元学校事務職員が、今まで出会った子どもたち、仲間、そして学校のことを話してくれています。

義務教育無償を考えよう

「冬の集会in奈良」で行われた、堺市、福島県、横浜市のとりくみが報告されています。

目　　次

■座談会　お金のこと、みんなで話せる学校を！
■保護者負担の軽減を願って、小さな取り組み
　－学校のお金を知らせること・知ること－
■就学援助の現状と取り組み、課題《各地から》
■就学援助制度の課題
■今日の学校の課題と学校事務職員の役割
　－学校文化の変革と
　　学校の福祉的機能の強化を－

＜2010制度研冬の集会in奈良＞
■講演　子ども・保護者・教職員が
　　育ちあえる学校を
　　－憲法は学校でいかされているか－
■報告　学校の無償教育レベルを考えてみよう
　　－学校のお金をめぐる問題をさぐる－

■連載：『もうひとりの私』2
■おすすめの一冊
『改訂新版　教育としての学校事務』（大月書店）
『学校のお金と子ども』（草土文化）

2010年6月18日発行
A5判　64ページ
500円　（送料160円）

編集・発行　全国学校事務職員制度研究会

注文はこちらへ

■ 神奈川県横浜市立すすき野中学校
　植松直人
〒２２５－００２１
神奈川県横浜市青葉区すすき野３－４－３
TEL 045-901-5896 FAX 045-904-2439
■ http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/
（「制度研」で検索できます）
■ E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp